



八木山の教訓から

もしもといつもの 関係づくりを考える

セッション 防災と自治

地域課題や、課題だと思ふ種を持ち寄り
解決へ向けた連携が生まれる場



2024

10.17 thu
19:00~20:30

会場：仙台市市民活動サポートセンター
6階セミナーホール及びオンライン

日頃から自分たちの暮らすまちに関心を寄せたり、様々なカタチで地域に関わったりする人たちの存在は、有事の際も大きな力となるのではないのでしょうか。

今回は、自治組織に限らず、企業や大学など様々な機関と連携した地域防災や、若い世代に地域に関心を持ってもらうための試行錯誤について伺い、日頃のつながりづくりと防災について考えます。

お申込みフォームはこちら。
お申し込み後 Zoom アドレスをお知らせします。



対象：町内会、商店街、NPO、大学、企業など地域課題解決に取り組む多様な主体。テーマに関心のある市民

定員：20名（Zoom会場は定員制限なし）/参加無料

共催：せんだい・みやぎソーシャルハブ
仙台市市民活動サポートセンター

お問合せ

仙台市市民活動サポートセンター
(指定管理者：NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター)
仙台市青葉区一番町4-1-3 / TEL 022-212-3010

情報提供者

八木山地域再生・創生ボランティアグループ
YARVOG 代表

並河 浩一 さん

八木山市民センター館長として地域に関わる。退職後も八木山を拠点に、様々な共助の輪や人をつなぎ、防災活動を通じた安全安心なまちづくりや、地域活動への参加を促す活動を展開中。

仙台八木山防災連絡会 若者部会

山口 茂 さん

八木山地区在住。地域防災のためのコンソーシアムである連絡会で、若者部会の中心を担う。学校・青少年を対象とした防災教育の他、地下鉄東西線八木山駅周辺の賑わいづくりなどに関わる。



まちのこれからを ともに考え ともにつくる

せんだい・みやぎソーシャルハブは、市民目線で発掘された社会課題に対し、NPO、行政、企業、志のある個人など多様な主体が力を合わせ、課題解決のために力を発揮する環境をつくることを目的としたプロジェクトです。NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター、一般社団法人パーソナルサポートセンター、NPO法人都市デザインワークスの3団体が連携して運営しています。